azbil

仕様･取扱説明書

インテリジェントコンポ™ アクティバル™ 専用 電動弁操作器 形MY5390A

■概　要

小形比例弁 形VY530＊専用電動弁操作器(アクチュエータ)です。
電動弁操作器(形MY5390A)と小形比例弁(形VY530＊)を組み合わせて使うことにより、空調機の冷温水制御に使用できます。
簡易着脱機構を採用し、バルブとの組み付けが容易にできます。
本製品は、コントローラとの通信(SAnet)により、バルブ開度指示信号、フィードバック信号に加え、形番、製造情報、動作履歴情報などをシステムとして保持しています。設備の省エネルギー対策、メンテナンスに対して、有用な情報を提供できます。

■特　長

(1) 小形・軽量
空調機内のような限られたスペースに設置できます。

(2) 簡易着脱機構
バルブ(形VY530＊)と工具なしで簡単に組み付けられ、調整が不要です。

(3) IEC IP54 (防じん・飛まつ保護)
空調機内に設置できます。
(注) IP54を維持するために、防水コネクタが必要です。

(4) 手動開閉装置・開度表示付

(5) ストローク90°
動作時間　60秒(50Hz) / 50秒(60Hz)

(6) バルブ開度指示信号、フィードバック信号、製品情報、製造情報、動作履歴情報を保持しています。
コントローラとの通信により、各種情報を取り出せます。

(7) 補助DI/DOを搭載
微差圧スイッチ、加湿信号など近傍にある従来機器の配線を取り込むことにより、省配線を実現します。

(8) CEマーキング対応
CEマーキング適用規格に適合しています。

＊インテリジェントコンポは、アズビル株式会社の商標です。
＊アクティバルは、アズビル株式会社の商標です。
＊Infilexは、アズビル株式会社の商標です。

CE

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。
特に • 人体保護を目的とした安全装置 • 輸送機器の直接制御(走行停止など) • 航空機 • 宇宙機器 など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。
システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、10年です。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換など、定められた保守が適切に行われていることを前提としています。

製品の保守に関しては、保守の項を参照してください。

■「警告」と「注意」

⚠警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。
⚠注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■絵表示

	記号は、明白な誤操作や誤使用によって発生する可能性のある危険(の状態)を警告(注意)する場合に表示(左図は感電注意の例)。
	記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合に表示(左図は分解禁止の例)。
	記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示(左図は一般指示の例)。

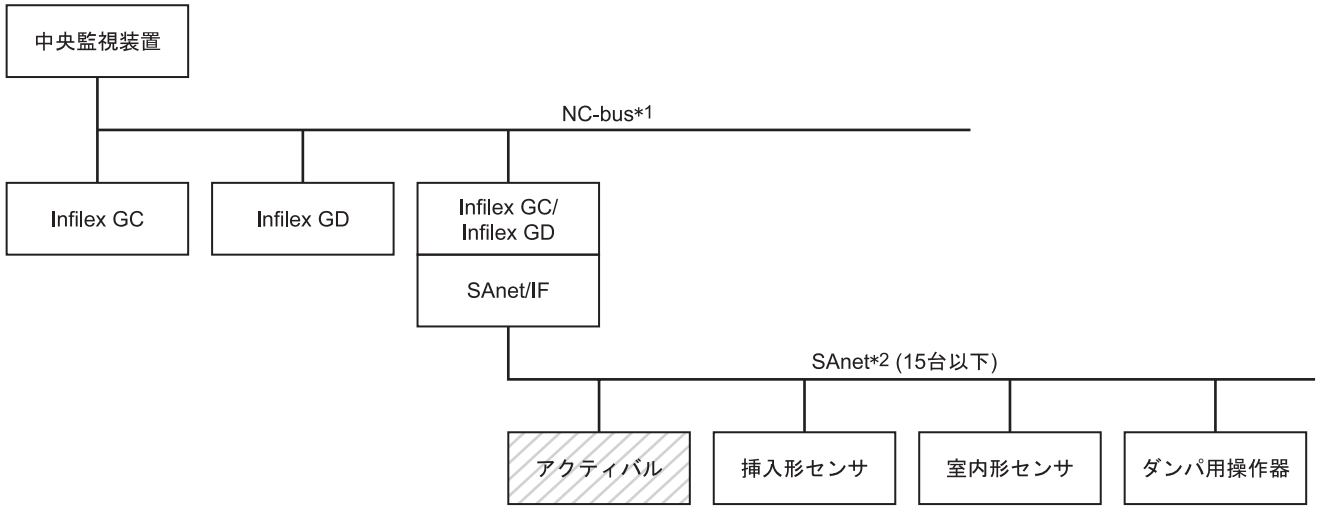
⚠ 警 告	
	配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。 感電の恐れや故障の原因になります。
	結線作業後、調整作業後は必ず端子カバーを元に戻してください。 端子カバーをしないと感電する恐れがあります。

⚠ 注 意	
	本製品は仕様に記載された使用条件(温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など)を満たす場所に設置しその仕様範囲内で使用してください。 火災の恐れや故障の原因になることがあります。
	本製品は仕様に記載された設計推奨使用期間の範囲内で使用し、過度な動作回数にならないように計装してください。 設計推奨使用期間を超えて使い続けると、火災の恐れや故障の原因になることがあります。
	本製品を保管する場合は、梱包された状態で保管してください。 梱包がない状態で保管すると汚損や破損の原因になることがあります。
	本製品に衝撃を加えないでください。 故障の原因になることがあります。
	取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。

⚠ 注 意
本製品を蒸気コイル、高温水コイルなどに隣接して取り付けないでください。 高温の輻射を受けて、アクチュエータ部が故障する原因になることがあります。
アクチュエータ、バルブとその諸部品を腐食するような雰囲気では使用しないでください。 故障の原因になります。
本製品のアクチュエータ部に物を乗せたり、体重をかけたりしないでください。 破損の原因になります。
配線については、内線規程、電気設備技術基準などに従って施工してください。
本製品への電源を遮断できるような電源ブレーカを設けてください。
安全のため、制御盤内に保護装置（ヒューズ、遮断器など)をつけてください。

⚠ 注 意
配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸法を守ってください。 長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。
本製品の可動部に手を触れないでください。 けがを負う恐れがあります。
本製品を分解しないでください。 故障の原因になります。
本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。 また、本製品の一部または全部を再利用しないでください。

■システム構成



*1　NC-busは、ニューコントローラバスの略称です。
*2　SAnetは、センサアクチュエータネットワークの略称です。
(注) 1. 接続可能な中央監視装置については、弊社販売員にお問い合わせください。
2. 幹線の制約については、『汎用コントローラ Infilex GC　仕様・取扱説明書』、『汎用データギャザリングパネル Infilex GD　仕様・取扱説明書』を参照してください。
3. SAnet幹線の制約については、『AI-6713　インテリジェントコンポ（SAnet編）　施工説明書』を参照してください。

図1　システム構成例

■形　番

基礎形番	アクチュエータ/バルブ		アクチュエータ		バルブ	世代	内　容
	制御信号	定格と材質	種別	付加機能	ケーブル長		
MY53							低トルク形アクチュエータ
	9						SAnet
		0					
			A				IEC IP54 (防じん･飛まつ保護) ノンスプリングリターンタイプ
				0			補助DI1点　補助DO1点
					000		ケーブルなし
					001		ケーブル付き (ケーブル長60cm)
					002		ケーブル付き (ケーブル長3m)
						－B	固定

●別途手配品

品　名	形　番		仕　様		備　考
防水コネクタ	83104346-	012	適合電線径	φ6-8mm	IP54を維持するために必要です。
		013		φ7-9mm	
		014		φ9-11mm	
三又配線ユニット*	DY7000A1000				

＊　三又配線ユニットを使用する場合は、『AI-6713　インテリジェントコンポ (SAnet編)　施工説明書』を参照してください。

■仕　様

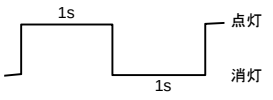
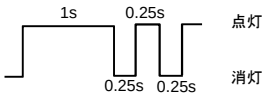
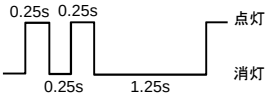
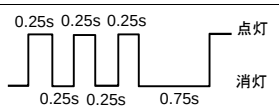
(1/2)

項　目			仕　様
適合バルブ			形VY530＊
電源電圧			AC24V±15%　50/60Hz
消費電力			最大7VA (動作時)
動作時間			60s±6s (50Hz)/50s±6s (60Hz)
制御信号			SAnet
接点入力 (補助DI)	入力形態		無電圧接点入力
	電圧/電流		DC20V　5mA
接点出力 (補助DO)	出力形態		無電圧接点出力
	接点定格		AC30V/DC30V　0.5A以下　起動時2Aまで
	最小適用負荷		DC24V　5mA
通信	SAnet	伝送方式	電圧伝送
		伝送速度	1200bps
		伝送距離	『AI-6713　インテリジェントコンポ (SAnet編)　施工説明書』を参照してください。
開度指示	形VY5302		表示：0 (全閉) ～100 (全開) 前方、後方、下方から確認可能
	形VY5303		表示：0　(B-AB (Bポート開度100%　全開)) 100　(A-AB (Aポート開度100%　全開)) 前方、後方、下方から確認可能

(2/2)

項　目			仕　様
ケース保護構造			IEC IP54 (防じん・飛まつ保護) ＊『IP54 (防じん・飛まつ保護)を維持するために』参照
絶縁抵抗	端子とケース間		5MΩ以上/DC500V
耐電圧	端子とケース間		AC500V/min 漏洩電流1mA以下
工場出荷時の位置			開度100% (全開)
主要部材質	ケース		ポリカーボネイト樹脂 (色：グレー[DIC-651相当])
	カバー		
	ヨーク		ポリフェンレンサルファイド樹脂 (色：黒)
使用環境条件	定格動作条件	周囲温度	－20～50℃ (流体温度　0～100℃、流体の凍結はないこと)
		周囲湿度	5～95%RH
		振動	5m/s^2 (10～150Hz)
	限界動作条件	周囲温度	－20～60℃
		周囲湿度	5～95%RH
		振動	10m/s^2 (10～150Hz)
	輸送･保管条件 (梱包状態とする)	周囲温度	－20～70℃
		周囲湿度	5～95%RH
		振動	20m/s^2 (10～150Hz)
取付場所			屋内 (ただし、直射日光、塩害、腐食性ガス、有機溶媒雰囲気を避けること)
取付姿勢			正立から横向き (傾斜90°)までの任意の姿勢
手動操作			可 ＊『■ 取付 ● 手動開閉操作』を参照してください。
質量			0.5kg

●LED表示

動作状態	内　容	
正常	1秒点灯、1秒消灯の繰り返し点滅	
重故障	点灯	
軽故障	1秒点灯、0.25秒消灯、0.25秒点灯、 0.25秒消灯の繰り返し点滅	
初期処理中	点灯	
通信異常、または 通信異常＋軽故障	0.25秒点灯、0.25秒消灯の繰り返し点滅	
調整中	0.25秒点灯、0.25秒消灯、0.25秒点灯、 1.25秒消灯の繰り返し点滅	
調整中異常	0.25秒点灯、0.25秒消灯、0.25秒点灯、0.25秒消灯、 0.25秒点灯、0.75秒消灯の繰り返し点滅	

■配線仕様

SAnet通信配線(AC24V(～)、GND(⊥)、SAnet)は、『AI-6713　インテリジェントコンポ（SAnet編）　施工説明書』を参照してください。

項　目	配　　線	配線長
SAnet	CVV、VCT、IV、0.75mm^2、1.25mm^2、2.0mm^2	—
接点入力	CVV、VCT、IV、KPEV (小勢力専用) 0.75mm^2、0.9mm^2、1.25mm^2、2.0mm^2	30m
接点出力	CVV、VCT、IV、KPEV (小勢力専用) 0.75mm^2、0.9mm^2、1.25mm^2、2.0mm^2	30m

■機能内容

項　目	機　能	内　容
監視機能*	データ監視	上位 (中央監視システム、Infilex GC/Infilex GD)から監視・操作できるポイント • 弁開度設定 / 弁開度計測 / 補助DO出力 / 補助DI入力計測
	機器データ収集	上位 (機器情報収集PCアプリケーション)に収集・蓄積できる情報 • 製品形番　/　製造年月日 • 通電時間 / 動作時間 / 動作回数 / 反転回数 / 開度不一致検出 / 動作不能検出 / ポテンショ異常検出 / 全閉全開異常検出 / 開度分布

＊　Infilex GC/Infilex GD、中央監視装置、機器情報収集アプリケーションと組み合わせて実現できる機能です。

■CEマーキング

本製品は、下記の規格に適合しています。

EMC指令

イミュニティ　EN61000-6-2（IEC61000-6-2）

エミッション　EN55011（CISPR11）Class A

■外形寸法と各部の名称

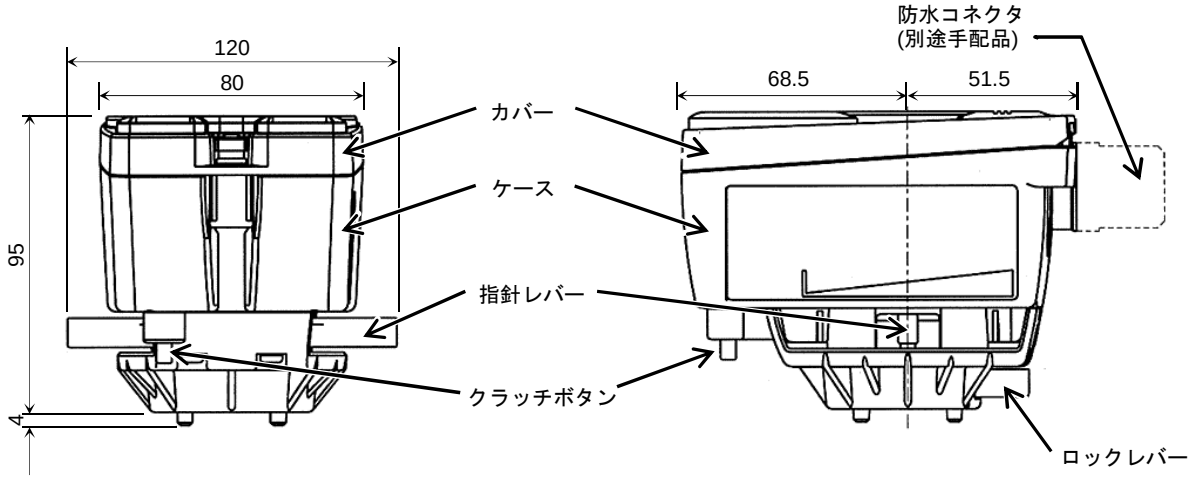
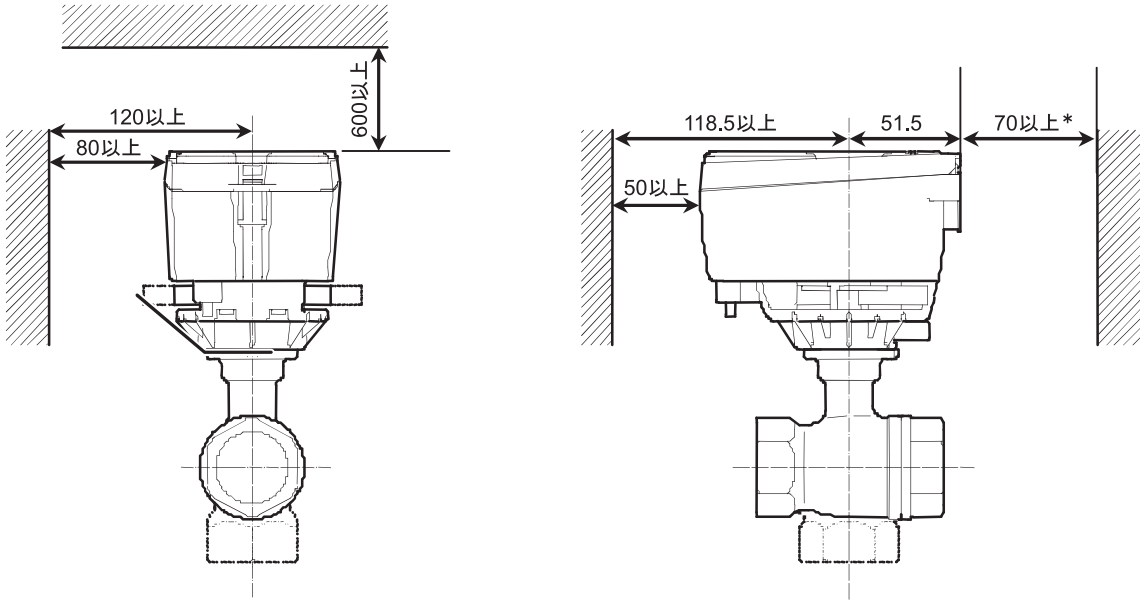


図2　外形寸法　(mm)

■メンテナンススペース



＊　三又配線ユニット使用時は、300mm以上です。

図3　メンテナンススペース　(mm)

■取　付

⚠ 注　意
本製品は仕様に記載された使用条件(温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など)を満たす場所に設置しその仕様範囲内で使用してください。 火災の恐れや故障の原因になることがあります。
取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
本製品のアクチュエータ部に物を乗せたり、体重をかけたりしないでください。 破損の原因になります。

重要!!
- ケース、カバーは、各種薬品や有機溶剤、またはその蒸気などにより腐食することがあります。
  各種薬品や有機溶剤で拭いたり、その雰囲気で使用することは避けてください。
- 高湿度雰囲気(～95%RH)で使用できます。
  アクチュエータを水没させないでください。
- 本製品は、屋内に取り付けてください。

- 保守・点検の行える位置に取り付けてください。
  ＊　保守・点検の行える最小余裕寸法は、『図3　メンテナンススペース（mm)』を参照してください。
- 天井裏に設置する場合は、バルブ周囲50cm以内に点検口を設けてください。

●取付場所

⚠ 注　意
本製品を蒸気コイル、高温水コイルなどに隣接して取り付けないでください。 高温の輻射を受けて、アクチュエータ部が故障する原因になることがあります。
アクチュエータ、バルブとその諸部品を腐食するような雰囲気では使用しないでください。 故障の原因になります。

●取付姿勢

正立から横向き(90度傾斜)まで任意の姿勢で設置できます。
アクチュエータがバルブよりも下方に位置することのないように本製品を設置してください (図4参照)。

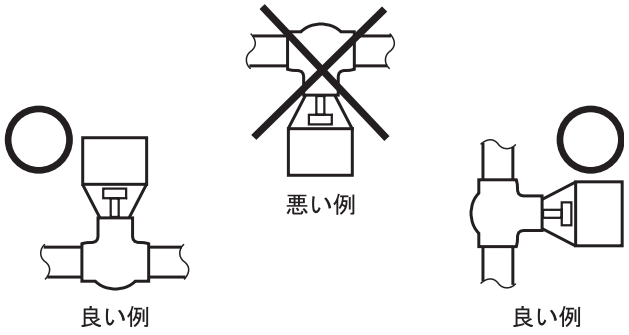


図4　取付姿勢

●工場出荷時の位置

工場出荷時のアクチュエータ軸の位置は、開度100%位置です。
アクチュエータの指針が時計方向に回りきった位置にあります (図5参照)。

●手動開閉操作

⚠注　意

本製品の可動部に手を触れないでください。
けがを負う恐れがあります。

重要!! • 手動開閉は、必ず電源を切ってから行ってください。
電源電圧AC24Vが印加されたまま手動開閉すると、アクチュエータが故障する恐れがあります。
• 手動開閉は、開度100%、開度0%目盛以上へ絶対に動かさないでください。

(1) 電源を切ります。
(2) 『図5　手動開閉操作』に示すように、クラッチボタンを押しながら、指針レバーを回します。
(注) 工具は、使用しません。

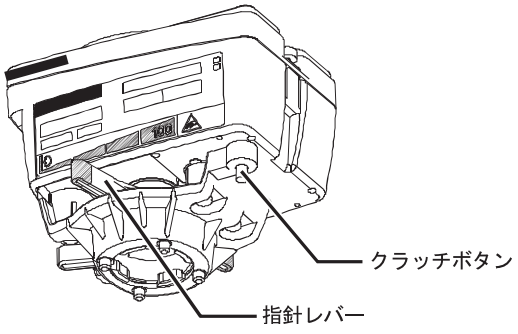
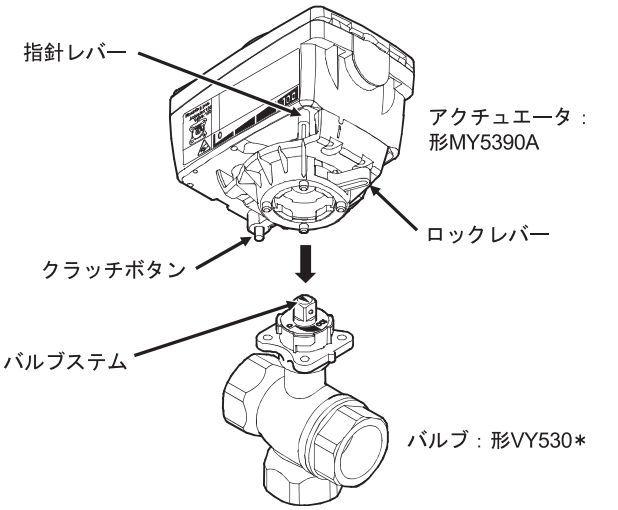


図5　手動開閉操作

●バルブへの組み付け

重要!! • 『図6　バルブへの組み付け』に示すように、工場出荷時のアクチュエータ・バルブの開度を必ず確認してください。
アクチュエータとバルブは、90°ごと接続できます。
• アクチュエータ接続位置の変更は、必ず開度100%の位置で行ってください。
• アクチュエータ側
レバーが「100」の位置にあること
• バルブ側
ステム上の矢印が「100」を指していること
ステム側面の丸穴がアクチュエータ接合面にある凸部の方向に向きます。
• バルブ開度0%(全閉)、アクチュエータ開度100%(全開)で組み付けると、バルブが全閉状態で止まってるのに、さらに回転力を生じるため、アクチュエータ内部のギアが破損します。
• バルブ開度とアクチュエータ開度が異なる状態で組み付けると、逆動作などが発生し、正しい制御動作が行えません。



(注) 動作中にクラッチボタンを押さないでください。
保温が、クラッチボタンや指針レバーに当たらないようにしてください。

図6　バルブへの組み付け

(1) クラッチボタンを押しながら、指針レバーを開度100%位置まで動かします。

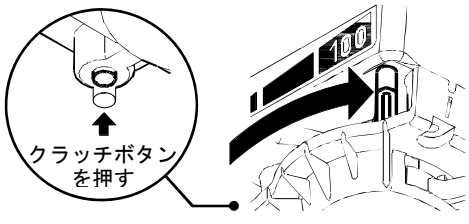


図7　指針レバー

(2) ロックレバーを「右端」まで動かします。

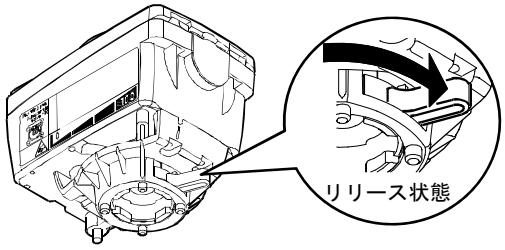


図8　ロックレバー

(3) 『図9　バルブステム』で示すように、バルブステムが「開度100%」の位置にあることを確認します。バルブステムが「100」のとき、ステム側面の丸穴がアクチュエータ接合面の凸部側を向きます。

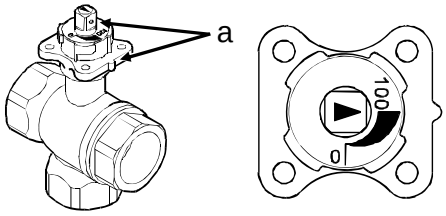


図9　バルブステム

(4) アクチュエータ(形MY5390A)をバルブ(形VY530＊)に接続します。
バルブの4つ穴に、アクチュエータの凸部を合わせてください。

(5) ロックレバーを「左端 (目印)」まで動かします。

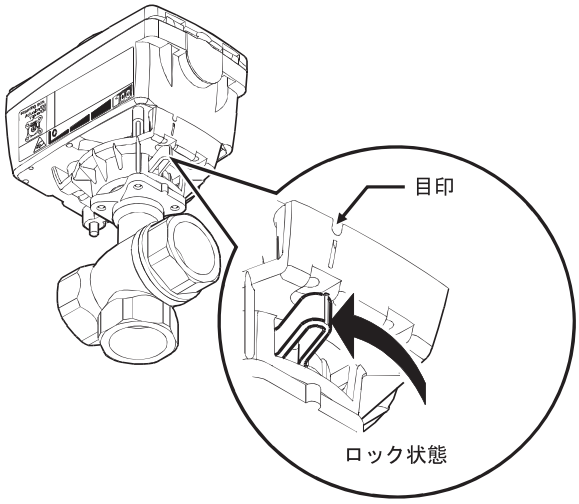


図10　ロック状態

■結　線

⚠ 警　告
配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。 感電の恐れや故障の原因になります。
結線作業後、調整作業後は必ず端子カバーを元に戻してください。 端子カバーをしないと感電する恐れがあります。

⚠ 注　意
取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
配線については、内線規程、電気設備技術基準などに従って施工してください。
本製品への電源を遮断できるような電源ブレーカ等を設けてください。
安全のため、制御盤内に保護装置 (ヒューズ、遮断器など)をつけてください。
配線の被覆むき長さは、仕様に記載された寸法を守ってください。 長すぎると導電部が露出し、感電または隣接端子間で短絡することがあります。短すぎると導電部が接触しないことがあります。

重要!!
- 本製品は、電源電圧AC24V用に設計しています。
  AC24V以外の電源電圧を絶対に印加しないでください。
- 作業時以外、カバーを必ず閉めてください。
  故障の原因になります。

●結線上の注意

SAnetに関しては、『AI-6713　インテリジェントコンポ (SAnet編)　施工説明書』を参照ください。

- 『図11　結線端子図』を参照し、正しく接続してください。
- DO出力配線と他の配線をなるべく分離してください。
  ノイズの影響を受ける恐れがあります。

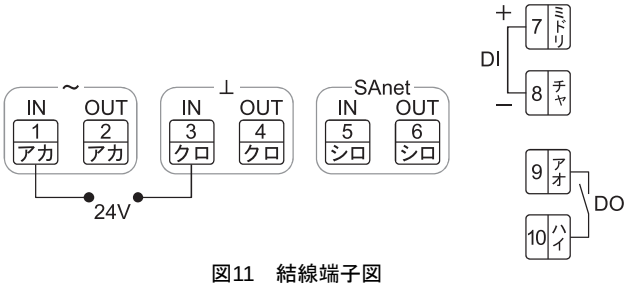


図11　結線端子図

●IP54 (防じん・飛まつ保護)を維持するために

- カバーを確実に閉めてください。
- 防水コネクタを閉めてください。
- 次の場合は、ケーブル径の適合した防水コネクタを使用してください。
  - 本体付属のケーブルを取り外し、別ケーブルを使用するとき。
  - 三又配線ユニット使用するとき。

＊　防水コネクタは、『● 別途手配品』を参照してください。

●結線時の準備物

- マイナスドライバ
  ドライバの刃先が幅3.5mm、厚さ0.5mm程度のストレートタイプ
  適合例：vessel 形9900 (3×100)
  vessel 形910 (3×75)相当品
  (注)刃先から軸にかけて幅が広がるものは、端子1～6に適合しない場合があります。
- スパナ
  22mm、24mm用

●結線方法

(1) ケースのツメ(スナップフィット)を手で押し、カバーを反対側のヒンジを支点として回転させて外します。

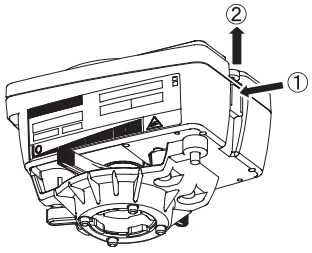


図12

(2) ニップル部をケースに取り付けます。
(3) ケーブルを締付キャップ、ゴムブッシュ、ニップル部の順に通します。

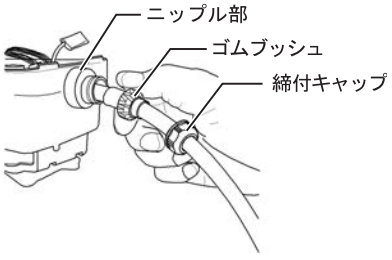


図13

(4) リード線を端子台(端子番号1～6)に接続します。
(注) 周辺の部品に触れないように注意してください。
リード線の被覆除去長さ：5～6mm

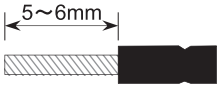


図14　端子1～6 被覆除去長さ

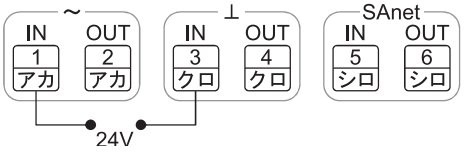


図15　端子番号1～6

① 小さな方の角穴にマイナスドライバを差し込みます。
② 傾けます。
③ 大きい方の角穴に電線を差し込みます。
④ ドライバを引き抜きます。

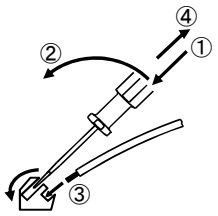


図16

(5) リード線を端子台 (端子番号7～10)に接続します。
リード線の被覆除去長さ：9～10mm

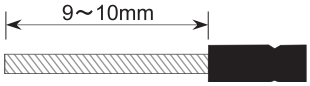


図17　端子7～10 被覆除去長さ

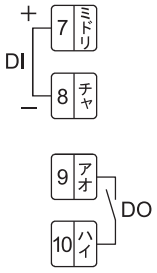


図18　端子番号7～10

① マイナスドライバでボタンを押し、リード線を端子台に接続します。
② ボタンを放します。
(注) 端子番号7のボタンを押すときに、横のエンドプレートをドライバーで強く押すと、外れる場合があります。注意してください。

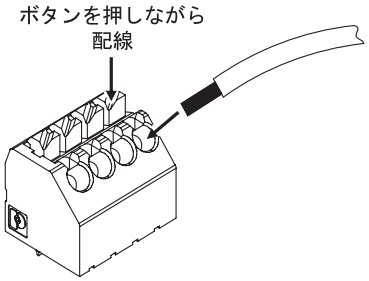


図19

(6) 各リード線を軽く引っ張り、端子台から抜けないことを確認します。
(7) 締付キャップをスパナなどで締め付け、内部配線をケース端面内に収めます。
(注) 電線のヒゲが出るなど、隣同士がショートしていないか確認してください。
(8) 手順(1)で外したカバーを閉じます。
ヒンジ(カバー後部にある2か所の凸部をケースの後部にある凹部に差し込む)を支点に、カバーを支点方向に押しながら、ツメがかかるまで回転させ閉じます。
(注) カバーを閉じるときは、ケーブルが当たらないことを確認してください。
ケーブルがケース内に余ったまま無理にカバーを閉めると、基板などにストレスがかかり、破損する場合があります。
(9) 手順(3)でケーブルに通した締付キャップを閉めます。

●ケーブルの取り外し

(1) ケースのツメ(スナップフィット)を手で押し、カバーを反対側のヒンジを支点として回転させて外します(図12参照)。
(2) 締付キャップを緩めます。
(3) ゴムブッシュを外します。
(注) ゴムブッシュは、取り付けのときに使用します。
保管しておいてください。
(4) 端子台 (端子番号1～6)からリード線を外します(図16参照)。
① 小さな方の角穴にマイナスドライバを差し込みます。
② 傾けます。
③ リード線を引っ張って、端子台から外します。
(5) 端子台(端子番号7～10)からリード線を外します(図19参照)。
① マイナスドライバでボタンを押し、リード線を引っ張ります。
② ボタンを放します。
(6) ケーブルを引き抜きます。
(7) 手順(1)で外したカバーを閉じます。
ヒンジ (カバー後部にある2か所の凸部をケースの後部にある凹部に差し込む)を支点に、カバーを支点方向に押しながら、ツメがかかるまで回転させ閉じます。
(注) 1.カバーを閉じるときは、ケーブルが当たらないことを確認してください。
ケーブルがケース内に余ったまま無理にカバーを閉めると、基板などにストレスがかかり、破損する場合があります。
(注) 2.すべてのケーブルを取り外した場合は、ニップル部をケースから取り外します。
防水コネクタは、取り付けのときに使用します。
保管しておいてください。

■結線例

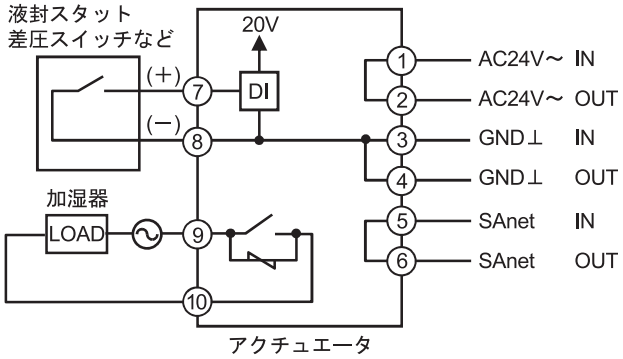


図20 基本配線例

■設　定

●アドレス設定

SAnetインタフェースモジュール下には、電動弁やセンサ類など、複数の機器を接続します。
SAnetインタフェースモジュールが、これら機器を区別するために、機器ごとに所定のアドレスを設定します。

表1　標準的なアドレス設定*1

アドレス	本体	補助DO/AI	補助DI
1	外気ダンパ		
2	排気ダンパ		
3	還気ダンパ		
4	全熱交換機の切り替えダンパ　外気		
5	全熱交換機の切り替えダンパ　排気		
6*3	冷温水弁/冷水弁		フィルタ警報
7*3	温水弁(冷水弁*2)	加湿器ON/OFF	
8	加湿弁		
D(13)	給気温度/給気露点温度	CO_2センサ	
E(14)	還気温度/還気温湿度	CO_2センサ	
F(15)	室内温度センサ/室内温湿度センサ	CO_2センサ	

*1　上記はあくまで標準的な例を示しています。
システム構成、製品設置場所、配線ルートなどを最適にすることを優先し、アドレス付番、補助I/Oの使用個所を決定してください。

*2　冷温水＋冷水で計装する場合は、冷温水を「6」、冷水を「7」に設定してください。

*3　　部は、本製品で設定する標準アドレスです。

次の手順で操作し、アドレス設定を行ってください。

(1) ケースのツメ部を押さえながら、上面のカバーを外します。

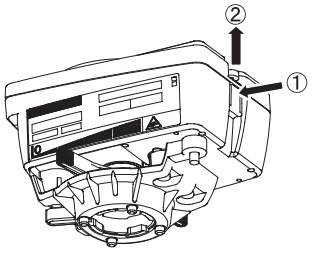


図21

重要!!　● カバーを外している間は、端子台に手や物が触れないように注意してください。。

(2) アドレスを設定します(表1参照)。
アドレス設定は、3つの方法があります。
- サービスピンスイッチ
- ロータリスイッチ
- SAnet IDを利用する

ただし、機器本体で設定できるのは「ロータリスイッチで設定」と「サービスピンスイッチで設定」です。
また、「サービスピンスイッチで設定」と「SAnet IDで設定」の場合は、エンジニアリングツールでの操作が必要です。
用途により、いずれかを選択し、アドレスを設定してください。

(注)　ロータリスイッチが「0」以外に設定されていると、「サービスピンスイッチで設定」と「SAnet IDでの設定」はできません。

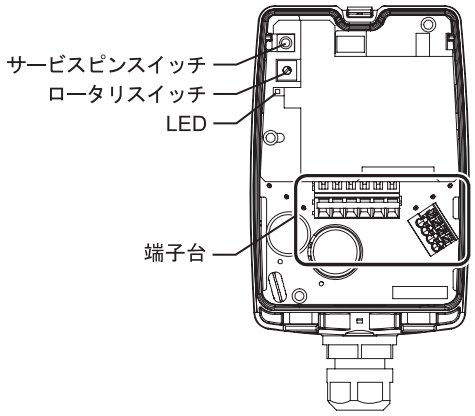


図22　端子台と各種スイッチ

- サービスピンスイッチで設定
  ① ロータリスイッチが「0」であることを確認します。
  ② エンジニアリングツールでアドレス設定操作を開始後、サービスピンスイッチを押します(押下は5秒以内)。
  ③ サービスピンスイッチ押下後、５秒以内にアドレスが確定します。

  (注)　通信エラーやアドレスの重複でアドレッシングに失敗することがあります。
  ツールでアドレスが正しく設定されたことを確認してください。
- ロータリスイッチで設定
  精密マイナスドライバでロータリスイッチを回して設定します。

重要!!　● サービスピンを5秒以上の長押ししないでください。
モードが切り替わり、正常動作をしなくなります(ポイントトラブルが発生します)。
万一、モードが切り替わってしまった場合は、再度サービスピンを10秒以上長押ししてください。通常モードに復帰します。

- SAnet IDで設定

  ① ロータリスイッチが「0」であることを確認します。

  ② エンジニアリングツールでアドレス設定を行います。
  SAnet ID番号は、本製品側面のラベルに記載されています。

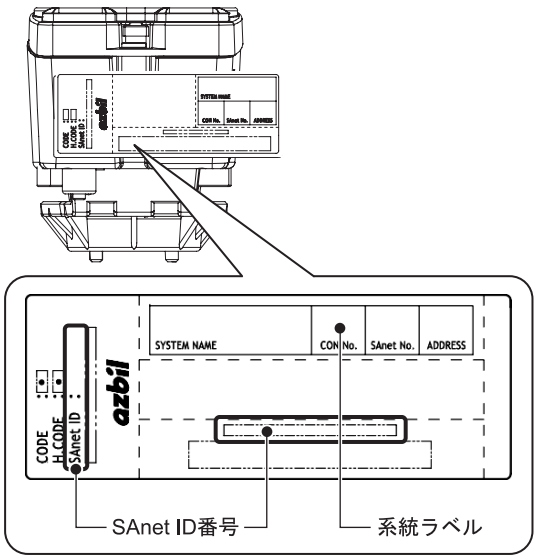


図23　ラベル

③ カバーを取り付けます。

●系統ラベル

系統や機器のアドレス番号などの情報を記載したラベル(系統ラベル)を任意の場所に貼り付けられます。系統ラベルは、本体の側面にある銘板と一体になっています。使用時は、切り取り線に沿って切り、機器本体の見やすい位置に貼り付けてください。

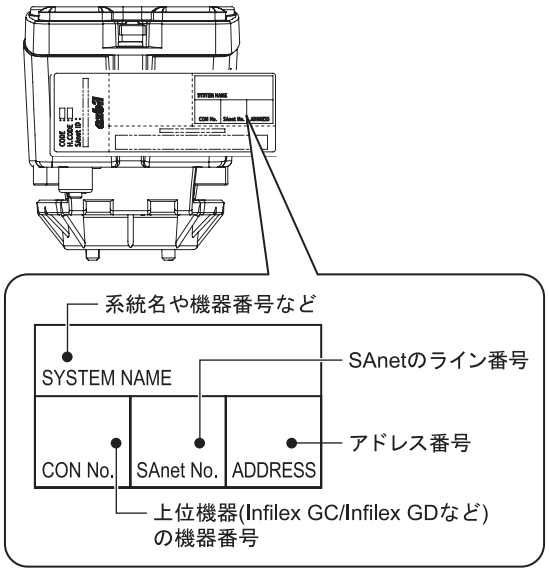


図24　系統ラベル

重要!!
- 系統ラベルは、ほこりや水気、油分などがないきれいな場所に貼り付けてください。
- 貼り付ける際は、上から十分に押さえつけ、全面を密着させてください。

■調整モード

調整モードで作業をすると、『表2　調整モード中のロータリスイッチ動作』に示すような動作ができます。本製品におけるサービスピンスイッチとロータリスイッチの位置については、『図22　端子台と各種スイッチ』を参照してください。

(1) サービスピンスイッチを10秒間長押しし、調整モードに入ります。

(2) ロータリスイッチを精密マイナスドライバで、目的の動作番号に回します(表2参照)。

表2　調整モード中のロータリスイッチ動作

ロータリスイッチ番号	動　作
0	リスタート(通常モードに戻る)
2	開度0%
4	開度50%
6	開度100%
E	ポテンショ自動調整開始

(注) 1. ロータリスイッチ番号1、3、5、7、8、9、A～D、Fは、動作しません。
2. 本製品はユニット交換です。
Eは動作しますが、この機能は必要としません。

(3) 目的の動作番号に回してから3秒後に、動作を開始します。

(4) 作業終了後は、再度サービスピンスイッチを10秒長押します。
通常モードに戻ります。
(注) アドレスをロータリスイッチで設定している場合
通常モードに戻ったあと、必ず元のロータリスイッチの位置に戻してください。

■保　守

⚠ 警　告
配線・保守などの作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。 感電の恐れや故障の原因になります。
結線作業後、調整作業後は必ず端子カバーを元に戻してください。 端子カバーをしないと感電する恐れがあります。

⚠ 注　意
本製品の可動部に手を触れないでください。 けがを負う恐れがあります。

(1) 配管後、長期間の休止状態になるときは、1か月に1回程度本製品を開閉させてください。
(2) 『表3　点検項目と方法』に従って、点検を行ってください。
(3) 6か月に1回くらいの頻度でバルブ外部への流体の漏れの有無と、アクチュエータの動作を目視点検してください。
『表4　異常時の処置』における異常が発生していた場合は、その現象に応じて確認してください。
処置を講じても異常現象が解決しない場合は、弊社担当者に連絡してください。

表3　点検項目と方法

点検項目	点検周期	点検方法
外観チェック	6か月	• グランド部、配管接続部からの漏れのチェック。 • ロックレバーのゆるみがなく、バルブに組み付いているか。 • アクチュエータの損傷チェック。
運転状態	6か月	• バルブの開閉がスムーズに行われているか。 • 異常な騒音、振動がないか。
日常点検	随時	• 異常な騒音、振動がないか。 • バルブの開閉がスムーズに行われているか。 • バルブのハンチングはないか。

表4　異常時の処置

異常現象	点検個所	処　置
バルブの動作がスムーズではない。 途中で止まる。 動かない。	電源/入力信号の印加信号状態。 配線の状態/断線。 異物かみ込み。	電源の確認。調節器の確認。 配線の確認。 手動開閉による異物の除去。
開度0%時に漏れがある。	指示針の開度0%状態。 『取付』の項を再確認。	開度0%にする。 『AI-6713　インテリジェントコンポ（SAnet編）施工説明書』を参照してください。
異常な騒音・振動がある。	一次側の圧力状態。 差圧状態。	設置条件を修正する。
バルブのハンチング	二次側の圧力状態、差圧状態。 制御の安定性。	設置条件の修正。 コントローラの制御パラメータ PIなどの設定修正。
電動操作にて開度0%にならない。		弊社担当者に連絡してください。
流水騒音		ポンプ送り圧と配管手続図から各ポイントにおける圧力状態の検証および 形VY53の騒音資料による検証。
アクチュエータからの動作異音		弊社担当者に連絡してください。
通信異常		『AI-6685　インテリジェントコンポ(SAnet編)調整説明書』を参照してください。

azbil

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

http://www.azbil.com/jp/

[ご注意] この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせ･ご相談窓口:ビルシステムカンパニー コールセンター
0120-261023
受付時間 9：00～12：00　13：00～17：30
土･日･祝祭日、年末年始、夏期休暇など弊社休業日は除きます。

이 기기는 업무용(A급) 전자파 적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。